

水稻の側条施肥栽培

水稻の移植時に、地表面から深さ 3~5cm、苗の横 3~4cm の位置にすじ状に施肥する方法です。専用の側条施肥移植機を使用します。側条施肥は、従来の全層施肥に比べ基肥の散布作業が省力化できるとともに、施肥窒素の利用率が向上し減肥が可能となります。下表に示した試験では側条施肥と全層施肥と比較していますが、側条施肥は全層施肥量に比べ約 10%施肥量が少ないですが、同等以上の収量を確保することができます。このため側条施肥における施肥窒素量は、全層施肥窒素量の約 10%減が適当です。

試験区	施肥量	稈長	穂長	穂数	有効茎歩合	倒伏程度	わら重	精もみ重	精玄米重	くず米重	千粒重
	Nkg/10a	cm	cm	本/m	%			kg/10a			g
側条施肥	8.3	75	20.2	341	77.3	無	997	747	609	8	22.5
全層施肥	9.4	72	20.1	364	69.7	無	1005	699	561	12	22.1

側条施肥により、代かき水への肥料成分の流出を防止でき、河川、海洋の富栄養化を防止する技術でもあり、環境負荷軽減技術としても優れた技術です。

